

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東・名
 コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-6328-2880
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,943	13.2	12	90.9	17	287.6	0	△100.0
2025年9月期第3四半期	1,717	7.0	6	△85.7	4	△90.5	97	△42.9

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 0百万円(△99.0%) 2025年9月期第3四半期 97百万円(△42.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	0.00	0.00
2025年9月期第3四半期	39.17	38.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,840	831	44.2
2025年9月期	1,798	790	43.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 813百万円 2025年9月期 790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	21.4	100	821.7	120	—	100	275.5	39.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

経常利益の対前期増減比率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社 (社名) 株式会社エッセンスマーケティング
株式会社PA Communication

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	2,551,600株	2025年9月期	2,534,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	72,254株	2025年9月期	88,774株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	2,459,235株	2025年9月期3Q	2,483,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や継続的な賃上げを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策の動向、中東情勢をはじめとする地政学的リスク、金融資本市場や為替相場の変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

日本企業は、AI活用、イノベーションの創発、生産性の向上、人口減少の中での顧客創造、といったテーマに直面し、急速に変化する市場環境の中でマーケティングのあり方そのものの見直しを迫られております。そういった課題背景のもと、中長期的に当社グループが提供するマーケティング支援事業の需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間は中期経営計画に沿って採用を実施したマーケティングコンサルティングコンサルタントの育成・教育に取り組み、中長期的な顧客獲得体制及びサービス受注体制拡充に向けた活動に注力いたしました。

サービス強化の取り組みに関しましては、株式会社エッセンスマーケティングを子会社化いたしました。同社はTikTokを中心とした若年層向けSNSマーケティングの設計・運用において高い実績を有し、特に成果創出に直結する運用ノウハウと人材育成力を強みとしております。企業のマーケティング活動において重要性が増しているSNSマーケティング領域における戦略設計力及び運用力の強化が図られ提案活動が進捗いたしました。

さらにサービス強化の取り組みとしまして、株式会社PA Communicationを子会社化いたしました。同社は美容・ファッション領域に強みを持つ統合型マーケティングコミュニケーション会社として、有力ブランドとの豊富な取引実績を有し、戦略設計から実行・改善までを一貫して担う高い専門性と実行力を備えております。また、PRとデジタル施策を融合した統合提案力など、独自の強みを有しております。当社グループのPR領域におけるサービス機能が強化され、統合型マーケティングコミュニケーション(※広告やSNS、PR、Webサイトなど、あらゆる顧客との接点で一貫したメッセージと体験を届ける戦略)の案件受注活動が進捗いたしました。

また、日本国内における拠点やネットワークを活用し訪日外国人・在留外国人を対象とした定量・定性調査を実施する「インバウンドリサーチ」を開始、アジアを中心とする地域の海外現地調査を、英語対応可能な自社スタッフが直接運営する「海外訪問調査パッケージ」を開始する等、海外向けや国内外国人を調査対象とした新サービスの開発に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,943,317千円(前年同四半期比13.2%増)、営業利益12,886千円(同90.9%増)、経常利益17,284千円(同287.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益11千円(同100.0%減)となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、1,840,074千円となり、前連結会計年度末に比べ41,248千円増加いたしました。これは主に、のれんの増加96,513千円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少48,564千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、1,009,055千円となり、前連結会計年度末に比べ743千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加18,878千円及び賞与引当金の増加18,384千円があった一方で、長期借入金の減少29,560千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、831,018千円となり、前連結会計年度末に比べ40,504千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益11千円の計上による利益剰余金の増加、自己株式の減少19,888千円があ

ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における進捗状況及び今後の業績動向を踏まえつつ、当第3四半期より連結子会社化した2社の業績寄与等を見込んでいることから、現時点では2025年11月13日に公表した通期業績予想から変更しておりません。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,018,964	997,476
受取手形及び売掛金	332,831	284,266
商品	5,045	4,087
仕掛品	22,235	37,798
貯蔵品	7,146	5,715
その他	46,227	52,428
貸倒引当金	△294	△609
流動資産合計	1,432,157	1,381,164
固定資産		
有形固定資産	31,514	26,418
無形固定資産		
のれん	128,763	225,277
顧客関連資産	21,266	19,166
ソフトウェア	29,804	27,266
無形固定資産合計	179,835	271,710
投資その他の資産	155,319	160,780
固定資産合計	366,668	458,910
資産合計	1,798,826	1,840,074
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,011	98,890
1年内返済予定の長期借入金	183,200	209,676
前受金	13,333	20,117
未払法人税等	5,471	8,238
賞与引当金	—	18,384
パネルポイント引当金	86,673	93,134
株主優待引当金	9,460	—
その他	180,456	167,339
流動負債合計	558,605	615,780
固定負債		
長期借入金	445,289	389,353
資産除去債務	3,077	2,052
その他	1,339	1,869
固定負債合計	449,706	393,274
負債合計	1,008,311	1,009,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,824	87,259
資本剰余金	284,589	286,025
利益剰余金	526,974	526,986
自己株式	△106,873	△86,984
株主資本合計	790,514	813,285
非支配株主持分	—	17,733
純資産合計	790,514	831,018
負債純資産合計	1,798,826	1,840,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,717,275	1,943,317
売上原価	914,120	1,059,785
売上総利益	803,155	883,531
販売費及び一般管理費	796,403	870,644
営業利益	6,751	12,886
営業外収益		
受取利息	255	890
業務受託料	109	5,929
補助金収入	319	—
その他	510	3,107
営業外収益合計	1,193	9,926
営業外費用		
支払利息	3,486	5,528
営業外費用合計	3,486	5,528
経常利益	4,459	17,284
特別利益		
子会社株式売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	—	6,507
特別損失合計	—	6,507
税金等調整前四半期純利益	4,460	10,776
法人税、住民税及び事業税	6,183	10,601
法人税等調整額	△98,997	△795
法人税等合計	△92,814	9,806
四半期純利益	97,274	970
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	958
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,274	11

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	97,274	970
四半期包括利益	97,274	970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,274	11
非支配株主に係る四半期包括利益	—	958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	12,096千円	12,310千円
のれんの償却額	12,561	16,073